

平成26年度第5回 障がい当事者支援プロジェクト 会議録

日時：平成27年2月17日（金）13：30～15：30

場所：三重県身体障害者総合福祉センター大研修室

参加者：プロジェクトメンバー11名、事務局3名

1. 自己紹介

- ・参加メンバーが一人ずつ簡単な自己紹介をしました。

2. 障がい当事者支援プロジェクトの目的の確認

- ・事務局の担当者から、プロジェクトの目的が説明されました。
- ・プロジェクトの目的は、「障がいがあってもなくても暮らしやすい社会にし ていくにはどうすればよいかを考えるための場所」です。

3. 障がい当事者支援プロジェクトのルールについて

- ・事務局の担当から、プロジェクトで守って欲しいルールが伝えられました。

①参加メンバー全員が意見を言いあえるようにすること。そのために、自分だ

けでなく、他の人の意見もきちんと聞くこと。

②これから考えたいこと、やりたいことはできるだけ参加メンバーの間で

決めること。手伝いが必要なことがあれば担当者に伝えること。

③わからないことがあればいつでも質問すること。聞かれた人は教えてあげること。

④このプロジェクトで聞いた他のメンバーの個人情報を勝手に他の場所ではべらないこと。

4. お知らせ

・事務局の担当から、「今度、2月23日に施設入所者等意向調査の説明会があるので、希望者は参加してください」、と案内がありました。

5. 前回(1月)話し合ったこと

・事務局の担当者から、前回話し合ったことが説明されました。

・前は、「障がいのある人が困っているときに周りの人はどうしたらよいか」について話し合いました。

・自分がこれまでに助かった体験として、わかりやすく説明してもらったこ

とや自分のことをわかってくれる人が周りにいてくれること、といった話が

出ました。周りの人は、障害の有無に関係なく、お互いの一人の人間とし

て接することが大切だという意見がありました。これからも相手のことが

理解できるような話し合える場を作っていきたいという意見が出ました。

・次回は、これからのことについて話し合うことになりました。

5. 話し合い

・ 前回決めたとおり、「これからのこと」について話しあいました。

・ 以下は参加者から挙がった主な意見です。

○これからのこと

※これまでのプロジェクトを振り返って

・ まず今の暮らしにくさについて話しあった。

・ 次にこれから必要なことを話し合った。まわりの人の理解や理解してくれ

る仲間が欲しいという意見が出た。

※これからやりたいこと

・ これからは、みんながわかりあうための交流の場を作りたい。

・ 住んでいる場所ごとの違い(良いところ、悪いところ)について話し合いたい

・ 行政への要望について話し合いたい

○施設入所者等意向調査について

※施設入所者等意向調査のことについてもっと聞きたい、話したい、という

意見があがったため、事務局担当者からおおまかな内容が説明されたあとで、

以下のような意見が出ました。

・ 調査結果は、施設入所者等の本当の声なのか。本当は地域で暮らしたいのではないか。

・ 入所している人は、施設の職員に後で色々言われるのではと遠慮してしまう。

・入所している人は、本当の気持ちを伝えられなかったり、聞いてもらえないという苦しさがあると思う。

・(自分が入所していた時の経験から)施設に長くいると、あきらめの気持ちが出てくる。本当は早く家に戻りたい

・調査の時にきちんと本人から話を聞けていないことが多い。どうしたら本当の気持ちを聞きだせるだろう？

※施設に入所している人のうちの3割、入院している人のうちの6割が「今と違うところでの生活が良い」と回答していることについて、以下のような意見が出ました。

・施設や病院から出たいと思っている人が本当はもっとたくさんいるのではないか。

・わからない。自分だったらそのままの生活が良い。

・本人も気づいていない気持ちがあるのではないか。

5. 次回のこと

・第6回3月17日(火) 13:30～

・当事者プロジェクトのメンバーのうち数名から2月23日の説明会に出席

したいという希望が出ました。

・ 第6回目は、自分たちが望む生活についての意見を自分の体験を重ねて

話し合うことになりました。